

議会だより

かみやま

第13号

2012.5.15

3月定例会



鬼籠野 神山さくら道

発行／神山町議会 [〒771-3395 徳島県名西郡神山町神領字本野間100 TEL. 088・676・1511 (IP2002) FAX. 088・676・1100]

3月定例会

3月議会は、平成24年3月8日から19日までの12日間の会期で開催しました。

前年度より1.7%増の58億686万円となった平成24年度予算を中心に、23年度補正予算のほか条例の改正、町道路線の認定、人事案件など23件を審議し、すべて可決、同意しました。

一般質問では、4議員が登壇し（7ページから掲載）それぞれ町の考えを質問しました。

平成24年度予算 58億686万円を可決

一般会計	37億 500万円 (2.0%増)
国民健康保険特別会計	9億5,615万円 (5.2%減)

簡易水道事業特別会計	1億2,397万円 (5.1%増)
介護保険特別会計	9億 2万円 (6.7%増)
後期高齢者医療特別会計	1億2,172万円(11.7%増)

主な内容

- ・本庁舎耐震改修設計業務委託料
1,300万円 (総務課)
- ・地域元気力創出事業助成金 107万円 (総務課)
- ・とくしま INAKA オフィスモデル事業助成金
600万円 (産業建設課)
- ・高齢者等タクシー利用助成事業
1,109万円 (健康福祉課)
- ・中山間地域等直接支払交付金
1,700万円 (産業建設課)
- ・あわ春香苗導入事業補助金
100万円 (産業建設課)
- ・森林境界の明確化業務委託料
1,125万円 (産業建設課)
- ・橋りょう長寿命化計画業務委託料
700万円 (産業建設課)
- ・道路改良舗装工事 3,000万円 (産業建設課)
- ・社会資本整備総合交付金工事
4,500万円 (産業建設課)

- ・住宅リフォーム支援事業補助金
400万円 (総務課)
- ・防災行政無線施設整備事業設計委託料
1,514万円 (総務課)
- ・広野公民館耐震改修工事設計委託料
650万円 (教育委員会)
- ・上分公民館解体、擁壁改修工事、新設設計委託料
1,350万円 (教育委員会)
- ・現年公共土木施設災害復旧工事
10,000万円 (産業建設課)



建て替えが予定されている上分公民館

3月補正予算

一般会計補正予算並びに三特別会計補正予算が提案され、総額で2億4,837万円が追加されました。

一般会計は主に三基金積立金で、特別会計は、介護保険特別会計で介護サービス費の計上でした。

一般会計	42億8,975万円 (1億8,427万円)
国民健康保険特別会計	11億6,675万円 (668万円)
簡易水道事業特別会計	1億2,821万円 (300万円)
介護保険特別会計	9億3,461万円 (5,442万円)

主な内容

- ・三基金積立金 2億7,620万円 (総務課)
- ・介護サービス費 5,330万円 (健康福祉課)

所信表明等

町長から所信の表明と行政報告が行なわれた。その概要については、次のとおりです。

■大西副町長が任期満了に伴い、平成24年2月26日で退任した。副町長が空席となっていることから、町民のサービス等々に低下を来さぬよう努めて参りたい。

■国の平成24年度予算は、東日本大震災の被災後、日本再生に向けて取り組む最初の本予算で、一般会計予算の規模は、90兆3339億円、前年度に比べ2兆7777億円2.2パーセントの減となっている。

■別途、経済危機対応、地域活性化予備費が9100億円計上されている。

■平成24年度神山町一般会計当初予算は、引き続き厳しい財政見込みが予測されているが、歳入歳出総額37億500万円を計上した。前年に比べ、7300

万円、2.0パーセントの増となっている。

■基金会計からの繰入額は、3億8035万3千円を計上し、その内、財政調整基金からは3億5000万円を繰り入れ、前年度より2862万円の増額となっている。

■また、特別会計への操出金は、4億3015万円の前年度より1億226万円の増額となっている。

■公債費の残高は、当該年度末現在高見込額で29億6151万円となり、平成23年度末に比べ、6億5313万円の減少となっている。

■職員数は、平成23年度末で7名が退職。平成24年度の職員数は、行政職89名、うち新規採用職員4名、現業職18名の合わせて107名体制となる。

■地域おこし協力隊は女性1人となったが、平成24年4月1日までに本町に移住していただき、地域住民と連携協力しなが

ら、産業や観光の振興に取り組んでいただく予定となっている。

■防災行政無線は、新年度に実設計を行い、平成25年度から2年間をかけて施設整備をいたしたいと考えている。

■公共施設の耐震改修は、防災拠点施設や避難所等、防災上、重要な施設など優先度の高いものから計画的に整備したい。平成24年度には、防災活動対策の拠点となります役場本庁舎及び広野公民館の耐震改修の実設計を行い、また上分公民館は耐震補強工事の実施が不可能であるということから建て替えを基本に進めて参りたい。

■住宅リフォーム支援事業は、大震災が発生した時の住宅の倒壊等による被害の軽減を図ることだけでなく、工務店あるいは大工さん等の地域経済対策も目的としており、住民の方が木造住宅の耐震工事等と合わせて行うリフォーム工事を実施する場合に、その軽費の一部を補助す

るものとなっている。

■神山町高齢者等タクシー運賃助成事業で、本年2月末の総申請数は809人となっている。現在、利用助成券が2冊までとなっているが、3冊に増やし、通院、買い物等、高齢者の外出の支援を更に進めて参りたい。

■介護保険料の平成24年度からの基準月額額は4千円、年額は4万8千円を予定している。現行の基準月額から200円増、年額で2400円引き上げとなっており、高齢化の進行に伴う介護サービス利用者の増加により、引き上げさせていただくものとなっている。

■産業振興で、ふきのとうの「あわ春香」の苗導入は、比較



ふきのとう「あわ春香」

的高収入と、しかも軽くて持ち運びのし易い、高齢者や女性の方にも作業が容易な蒔のとうの栽培を奨励し、産地化に取り組むもの。新年度2万本分の苗の購入費用の3分の1を助成することとしている。

■とくしまーNAKAオフィスモデル事業は、県が新年度から推進実施するもので、本町も補助を行い支援するもの。全国でも屈指のブロードバンド環境が整備された本町は、現在、東京のITサービス企業1社が、古民家にオフィスを開設しており、新たに5社が開設準備を進めている。このような中、サテライトオフィスの本格展開に向けた取り組みを県の推進に合わせ支援するものとなっている。

■町道改良事業では、町道の維持補修も含め、国や県の補助事業等を活用できる有利な事業、住民の方が必要とする事業を中心に基盤整備を実施して参りたい。青井夫元山線道路改良舗



サテライトオフィスに使用される下分地野の就労施設

諸報告

装、谷線道路改良舗装と大地谷線道路舗装工事などを実施する予定、等々の報告があった。

○平成23年11、12月、平成24年1、2月分の例月出納検査報告

監査委員から一般会計及び特別会計に属する出納状況を出納機関の諸帳簿、指定金融機関提出の収支日計表、証憑書類と照

合した結果、過誤のないことを確認したことの報告があった。

○定例監査結果の報告

監査委員から本庁内全課及び出先機関、学校の事務処理の方法の適否、財産管理と物品の管理状況及び予算の執行状況の監査結果について、次のような報告があった。

入札について、随意契約の必要性、妥当性の検討、長期にわたる契約の再度積算根拠の見直し、一括での契約により経費の削減、計画的な職員採用、臨時職員の待遇改善、備品管理体制の見直し等を指摘したことの報告があった。

○教育委員会の権限に属する事務及びその他教育長の権限に属する事務の管理及び執行状況等の点検、評価及びその結果報告

教育委員の就任状況、教育委員会との会議の開催状況、学校施設の状況、児童生徒数、教職員数、学力調査の結果、教育委員

会主催及び共催の各種事業等について報告があった。

○議員派遣報告

平成23年度佐那河内村・神山町議会の行政交流研修会など2件について報告があった。

条例制定・改廃等

○地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事項を定める条例制定

地方自治法の一部を改正する法律が昨年公布され、市町村の総合計画基本構想の議決の義務づけが廃止されたが、総合計画の基本構想は、町づくりの将来像を示し、町政運営の指針となる最も重要な計画であるので、地方自治法第96条第2項の議決事件として定めるものである。

(賛成多数可決)

○財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例

本条例の改正は、第2次地域主権一括法による地方公共団体

の財政の健全化に関する法律附則第5条が削除されたことにより、国等に対する寄付等の制限がなくなった。

地方公共団体は、当分の間、国、政令で定める独立行政法人若しくは国立大学法人等、又は日本郵政株式会社等に対し、寄付金、法令に基づかない負担金その他これらに類するものの支出を禁止されておりましたが、その制限がなくなったものです。それに伴い、本条例中の規定について、国等を対象に加えることにするものである。

(賛成多数可決)

○町長等の給与の特例に関する

条例の一部改正

町長、副町長の給料は、町長等の給与に関する条例で、月額町長74万6千円、同じく副町長59万7千円、教育長の給料は、神山町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例で、月額54万1千円と定められております。

本条例の改正は、平成23年度と同様に町長は20パーセント、副町長は10パーセント、教育長は5パーセントを基礎額に乘以て得た額を減じて得た額を給料月額と定めるものである。

(賛成多数可決)

○神山町営住宅設置及び管理に

関する条例の一部改正

本条例の改正は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、公営住宅法の一部が改正されたこと等に伴い、町営住宅の入居者資格について所要の改正の必要があるため、改正するものである。

(賛成多数可決)

○神山町単独住宅設置及び管理

に関する条例の一部改正

本条例の改正は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、公営住宅法の一部が改正されたこと等に伴い、同法を参酌してい

る単独住宅の入居者資格について所要の改正の必要があるために改正するものである。

(賛成多数可決)

○神山町環境センター設置及び

管理等に関する条例の一部改正

正

本条例の改正は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正により、市町村は、一般廃棄物を処分するために設置する一般廃棄物処理施設に置かれる技術管理者が有すべく資格について、環境省で定める基準を参酌して条例で定めなければならなくなつたために改正するものである。

(賛成多数可決)

○神山町介護保険条例の一部改正

正

本条例は、平成24年度から平成26年度までの第5期介護保険事業計画に基づき、向こう3年間の事業実施するうえで、必要

な65歳以上の第1号被保険者の保険料を改正するものである。

○神山町地域包括支援センター設置及び管理に関する条例及び

神山町地域支援事業利用料

徴収条例の一部改正

正

本条例の改正は、介護サービス等の基盤強化のための介護保険法等の一部改正する法律の成立に伴い、介護保険法の一部が改正されたことにより、神山町地域包括支援センター設置及び管理に関する条例及び神山町地域支援事業利用料徴収条例に引用しております。地域包括支援センターの設置などを定めた介護保険法の条項が変更されたもので、これらの条例を改正するものである。

(賛成多数可決)

○神山町営土地改良事業分担金

賦課徴収条例の一部改正

本条例の改正は、第2次地域主権一括法による、土地改良法が改正されたことにより、改正するものである。

(賛成多数可決)

○**神山町立公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部改正**

国の社会教育法の改正に伴い、審議会の委員について、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱すると改めるものである。

(賛成多数可決)

○**神山町スクールバスの運行及び管理に関する条例の一部改正**

今年度、中学校の野球部員が夏の大会終了後、神山中学校で11名、神山東中学校で3名となっており、現在一つのチームとして随時町民グラウンドで合同練習を行っている。生徒の送迎について、公共交通機関の便が悪いため、顧問の先生が送迎しており、新年度になると、神山東中学校は8名になる予定で、先生2人で送迎する必要となったため、安全の面からも生徒の

送迎については、スクールバスを使用せざるを得ないため、本条例を改正するものである。

(賛成多数可決)

議員発議案

○**議員派遣**

第21回徳島県町村議会議員研修会ほか2件について決定した。

○**委員会の閉会中の継続調査**

各常任委員会、特別委員会における案件について、閉会中も引き続き調査を行うと決定した。

人事案件

○**教育委員会委員の任命**

神山町鬼籠野字元山523番地
河野 善行氏

(同意)

○**人権擁護委員候補者の推薦**

神山町下分字安吉80番地2
井上 博康氏

(同意)

その他

○**町道路線の認定**

・路線名 上角本線
国道438号より分岐国道438号に至る。

・路線名 一ノ坂西線

県道鬼籠野国府線より分岐町道長田北山線に至る。の2路線を認定するため議決した。

請願・陳情等

○**請願書**

・人権侵害救済機関設置法案に反対する意見書提出についての請願

提出者 名西郡神山町阿野字下地170

人権侵害救済機関設置法案に反対する徳島の会

代表 米田末子

紹介議員 坂口一之議員

この件については、採択した。

平成24年

名西消防組合議会

第1回 臨時会

第1回臨時会が、平成24年2月17日に名西消防組合消防本部で開催されました。本臨時会では、神山町議会における消防組合議員の改選に伴い、副議長、監査委員の選任及び、平成23年度名西消防組合一般会計補正予算(第3号)を審議し、原案どおり可決した。

副議長 高橋 和男

(神山町議会)

監査委員 榎本 雄一

(神山町議会)

補正額357万円

(予算総額4億8500万円)

円)

平成24年 名西消防組合議会

第1回 定例会

第1回定例組合議会は、平成24年3月2日に名西消防組合消防本部で開催されました。

本定例会では、名西消防組合火災予防条例の一部改正など条例改正2件、平成24年度名西消防組合一般会計予算を審議し、すべて原案どおり可決しました。

○名西消防組合火災予防条例の一部改正

危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令が公布され、炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が危険物に追加されたこと

に伴い新たに指定数量の5分の1以上指定数量未満の危険物を貯蔵し、又は取り扱うこととなるものの一定の貯蔵及び取扱いに係る技術上の基準並びに位置、構造及び設備の技術上の基準について、経過措置を講じることとされたことによるものです。

○名西消防組合消防事務手数料条例の一部改正

製造所等の危険物施設のうち、危険物貯蔵所に含まれる特定屋外タンク貯蔵所に浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所が加えられたものです。

○平成24年度名西消防組合一般会計予算

5億2783万円

一般質問



高橋 和男 議員

問

① 鳥獣害について

シカ、猪の捕獲後の処理について、県議会一般質問で元木議員さんの質問で、農作物被害を軽減する目的で捕獲したシカ肉を活用した「ジビエ料理」普及の取組は。との質問に、飯泉知事さんの答弁は、シカ肉の処理加工施設を、現在2ヶ所から、平成14年度までに5ヶ所を目標に増設、また、シカ肉を提供する飲食店を「うまいよ！ジビエ料理店」として14年度までに30店舗を目標に認定する。という答弁なので、神山町も、美馬市木屋平のように補助金を活用して処理施設を作ってはどうか。

現在、木屋平小学校の寮が使われていないので、その一角を利用して、平成22年度強い農林水産業作り事業 美馬市シカ肉等加工施設が出来ています。

神山町も昨年度はシカ、猪を200頭余り捕獲しており、庭先や谷川で猟師さんが解体処理しますと、大動物で内臓や血液も大量に出て河川を汚す。それを水道水で皆さんが飲む可能性が出てくることとなりますので、補助金を利用して、処理施設を作ってはどうかお尋ねします。



美馬市木屋平の処理施設

答

町長

鳥獣害の被害は年々増える傾向にあり、猟友会と提携を行い捕獲しており、捕獲頭数については一定の成果が出ている。この捕獲した、特にシカ、猪をどう活用していくか、如何に資源としていくかという事ですが、現在、徳島県内でも何カ所か処理加工施設が運営されているが、成功事例はないという状況で、国内でも同様に成果が上がっているところは少なく、運営上厳しいものがあると考えられているが、尚よく、シカ肉などの活用方法を考えながら、今後、



美馬市シカ肉等加工施設

情報収集等を行っていききたい。

○ジビエとは

狩猟によって、食材として捕獲された野生の鳥獣である。主にフランス料理での用語。



榎本 雄一 議員

問

① 防災対策について

東日本大震災が発生したが、神山町は、過疎、少子高齢化が進行する中、南海・東南海地震や台風・豪雨などの大災害に対する備えが必要であると痛感するが、町の防災体制、地域における防災の在り方はどうあるべきか。

答

地震、その他の災害もいつ発生するかわからないということと、今できることは、今すぐから取りかかっているかなければならない。特に、問

題となっているのが、避難場所等の耐震化で、優先度を付け進めて参りたい。また、東日本大震災でもウィークポイントとなった、情報通信の問題で、本町の防災行政無線は、老朽化しており、これもいち早く新しいものにしていかなければならない。

大規模災害になると、町民や地域の人々の咄嗟の判断と連携、これが人の安全安心を保つ最大の重要なポイントという観点から、自主防災組織の推進が非常に大事になってくる。

神山町の自主防災組織率が、県下で一番低く、これらが町内全域に網羅されることが理想であると考えており、それに向かって、地元の方々の理解を得、命を守るのは自らが命を守るといふような考えを奮い起こしていただくために、出向いて参りたい。

自主防災組織の運営費を本年度から、1万円の助成金を措置をしている。

問

② 若者定住対策について

若者定住住宅の取組状況、町移住交流支援事業の成果と見通し、転入者に対する助成金制度、サテライトオフィスは、若者定住に繋がるのかどうか。

答

町営住宅の長寿命化の計画を策定しなければ、国の新たな補助は受けられないという流れがあり、新たな若者定住住宅向けの住宅構想等は、まだ煮詰まっていないという状況ではあるが、これはやっていかなければならないと考えている。

移住交流支援事業は、現在26世帯、52名が神山町に定住をしている。相談件数は303件あり、順番待ちが128件ある。今後も、貸していただける空き家があれば、まだまだ神山に住んでいただけるニーズは大いに有ると考えている。
転入者に対する住宅建設助成

金制度導入は、よくよく先進地事例を検討研究し、できるかできないかを精査して考えてみたい。

古民家を利用したサテライトオフィスは、比較的若い方が多いというようなことから、即定住ということではないが、神山町が気に入って独立して業を起していただけというようないろんな可能性もある。神山の自然環境の魅力、光ファイバー網を駆使した、働く環境の場として若者定住にも寄与できるのではないかと考えている。

問 ③ 鳥獣被害対策について
鳥獣被害対策は、個体数を減らさなくては、解決に至らないのではないか。また、陰切りの効果はどうか。

答
猟友会員の高齢化する中、報奨金を上げたから、捕獲頭数が増えるかどうか疑問がある。個体数を減らす作

業と共に、電気柵やネット等は、町内一円を網羅するということが、最大の被害を無くす手法ではなかるうかと考えている。

狩猟免許を取得する際に助成制度を導入している自治体もあり、この制度を導入することにより、新規の若い猟友会の会員を増やしていくという考え方もある。

陰切りの推進は、野生の被害を与える動物たちが、出てきにくいというための緩衝帯づくりという効果になると考えているので、これは必ずやらせていただきたいと思っている。



木元 史幸 議員

問 ① 連携事業について
A・I・R、移住交流、神山塾、サテライトオフィス、これ

等の事が住民に理解されていないが、効果と、今後も進めていくのか。

町長

答
情報発信の成果が上がっている地域の人口と交流することによって、新たな展開がある。若い世代を求めている、そのきっかけになる。移住交流事業で52名の方が定住している。神山塾では15名が現在、住んでいる。事業の理解を得る作業をやっていかねければと思っ

問 ② 国道193号、438号線の進捗状況と今後の見通しについて。

答 産業建設課長

193号線については、将来、倉維トンネルの開削に伴う残土処理、工事資材を搬入するため、吉野川市側で施工中である。

神山町側については、名ヶ平のトンネル坑口付近については、公図等の関係により、工事までには至っていない。

438号線については、国の補助事業が進められている。改良区内の総延長は1.6km、トンネルが2ヶ所、橋りょうが5橋、計画されている。

●問屋工区
1号橋、2号橋の橋台、橋脚が片方ずつ平成23年度に完成した。

●川又工区
5号橋は完成、まだ用地関係が処理できていない。



工事中の問屋工区

問 ③ 橋りょう点検について

産業建設課長

答

平成20年度に15m以上の橋りょう47橋の調査を行っている。橋長が15m以下の分、203橋を、23年度中に終了する予定、24年度からは、長寿命化計画に向けて、社会資本整備交付金事業で修繕を行う予定。

再問

川又工区で工事が止まっている193号線は、高松から海陽町まで伸びる、徳島を縦断す



工事中の川又工区

答 町長



完成した新しい川又橋と旧の川又橋

る、重要な国道である。点検の結果、どの橋を優先するのか。

答

町長

県管理の国道である、重要な路線である。地元の声を県にあげていく。



坂口 一之 議員

問

① 第4次神山村総合計画実施計画の中で、農業の振

興について、町とJA等が連携をとり、生産者が儲かる仕組み、6次産業化（生産・加工・販売）を早急に検討し実施すると書かれています。具体的にどう取り組むかお尋ねします。

答

町長

農業振興の中で6次産業化を進めるにはJA、森林組合、商工会等と連携を取り、取り組むことが必要であると考えている。

農業者の高齢化等、厳しい状況下にあるが、神山温泉で開発したスタチサイダーにも、若い農業後継者が参画して、サイダー、ドレッシング等の製品開発に取り組み等、やる気の芽が少しずつ芽吹いてきており、町は強力に支援して花を咲かせていく考えである。

6次産業化を如何に実現していくかは、極めて重要であり、強力に取り組んでいくつもりである。

問 ② 各学区の就学前、0歳から5歳児の年齢別の数

は、およそ神領校区（神領小・神山中）では15人から16人。また、広野校区（広野小・神山東中）では7人から10人であり、少人数学級が続くが、総合計画実施計画の中で、将来的な児童数を考え、新たな環境・統合問題を検討する検討委員会を設置する。と書かれているが、5年くらいを目途に統合を検討することが必要と思うが、教育委員会の考えは。

答

教育長

平成21年6月に少子化に伴う学校教育検討委員会での、町長への答申では、小学校は現状の2校を残し、中学校は1校という事であった。

将来的に中学校を統合するか、大胆に小中一貫校にする等を検討する、少子化検討委員会とが学校教育検討委員会を立ち上げる必要があると考えている。

行政視察など報告

佐那河内村との 交流研修会

本町との人、交通、文化などの交流が古くから続いている佐那河内村議会との研修が1月23日、ホテル四季の里会議室で全議員参加のもと行われた。ともに過疎化の進む地域において高齢化（高齢化率、佐那河内村は37・4%、神山町は44・4%）にむかつてどの様に健康な体を維持できるかが大きな関心ごとである。

神山町地域包括支援センター、保健師の川野公江さんを講師に迎え長年知らず知らずのうちに蓄えられてきたとされる生活習慣病、特に徳島県が全国1の死亡率となつてくる糖尿病についての講演を受けた。



勝名地区町村議会議員 研修会に参加して

糖尿病がなぜ怖い？予防・治療法・生活習慣の改善などの話を聞かせてもらった。運動の大切さ、糖分の取り過ぎの注意など基本的な対処法を学ばせてもらった。また健康保険税などの視点から経済的な影響にも興味をそがれたが、それにもましてこれから長い付き合いとなる自分の体は自分自身で定期健診などをつけていたわり健康で人並みの長寿を保たれればと感じた次第である。（森本吉治）

平成24年2月15日に、徳島市ホテル千秋閣において、新潟県立大学准教授 田口一博氏による「議会の使命と議員の職責について」と題し、講演がありました。

議会の使命とは、理事者（町長等）の提案する案件の是非を決する政策の決定をすること。

また、政策の執行についてのチェック機能、修正できない事業が終わってからの決算になってからのチェックでは遅い、執行中の事業のチェックも監査委員への監査請求等により可能であること。議会は広く意見を聴く広聴が必要であり、選挙、政治に関心を持たない人への働き掛けが大切であること。

次に、議員の職責としては、住民の声を議会に反映させることとであり、住民の声をよく聞き、一人の声であっても地域全体の声にすべき事もある。また、どの声から実現させるか決めること、つまり、優先順位を



決定する能力が必要である。等有意義な研修会であった。初心に帰り、議会活動へ取り組みことを認識させられた次第であります。（坂口一之）

徳島県町村監査委員 協議会定期総会

2月17日、町村監査委員協議会総会に議会選出の木元監査委員、事務局と参加した。

今総会では、会務報告、決算認定、平成24年度会務運営方針及び予算案の審議の他、2年間で検討が進められてきた「徳島県監査委員協議会 標準監査基準準則」が示された。

これを受け本町でも、指針となる監査事務提要进行を作成することとなります。

最後に、監査体制の充実強化について決議を採択し、関係方面に陳情することとした。

その後、大塚市町村アカデミー客員教授を講師に「監査委員が知っておきたい債権管理について」の研修を行い閉会した。

（代表監査委員 田中久博）

定例会・臨時会とは

定期的に招集される議会のことをいいます。

神山町議会では3月・6月・9月・12月の年4回開くことを条例で定めています。また、定例会のほかに、臨時の必要がある場合に随時招集され、付議事件として告示したものに限り審議できる「臨時会」があります。

なお、招集は町長が行いますが、会期や日程は議会が決めることになっています。

議会の動き

4月

5日 勝名地区議長会臨時総会
12日 勝名地区監査委員連絡協議会臨時総会

24日 勝浦・佐那河内・神山議会議員研修会

5月

14日～15日 名西消防議会議員視察研修

18日 第21回徳島県町村議会議員研修会

23日～25日 勝名地区監査委員研修会

29日～30日 第37回全国町村議長会

6月

中旬～下旬 6月定例会

議長、副議長研修会



議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し下さい。
定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。
日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。

神山町議会事務局
TEL

676-11511

「TP2002」

次の定例会は

6月中旬です。

議会だよりの投稿を募集しています。

身近な「出来事」や「情報」など、お気軽にお寄せ下さい。投稿は自由です。提出された投稿は、本委員会で協議検討し、承認を得たものとなります。議会だよりの発刊月は2月・5月・8月・11月の年4回を予定しています。

提出・問い合わせ先

神山町役場内 議会事務局

TEL 676-11511

「TP2002」

編集後記

桜の季節も過ぎまして、若葉青葉の爽やかな季節となりました。

さて、昨今のニュースを見ておられますと、地方の過疎化が進んでいる中、この神山町も、少子高齢化と過疎化が進み、限界集落が増えておりますが、東日本大震災以降、少しずつ地域社会の良さが見直される動きが出てきたように感じます。

この流れに乗り遅れず、町民の皆様とともに、地域活性化に力を入れ、より良い神山町を目指していきたいと思っております。

今回、初めての編集後記を担当させていただきましたこととなりましたが、今後とも町民の皆様のご意見を真摯に受け止め、議会だよりを通し、より充実した情報発信をしていきますよう、私を含め編集委員一同、ますますの努力をしていきたい所存でございますので、より一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。（五島準介）